

第3次南あわじ市男女共同参画計画 骨子（素案）

第1章 計画の策定にあたって

1 策定の趣旨

- 平成11年「男女共同参画社会基本法」施行以降、「第1次～第2次南あわじ市男女共同参画計画」の期間における社会変化と第2次計画で積み残された課題を踏まえた、第3次計画の策定趣旨

2 計画の位置づけ

- 法的位置づけ
 - ・「男女共同参画社会基本法」第14条第3項「市町村男女共同参画計画」
 - ・「女性活躍推進法」第6条第2項「市町村推進計画」
- 南あわじ市における本計画の位置づけ（各計画との関連など）

3 計画の期間

- 令和5（2023）年度～令和9（2027）年度の5年間

4 男女共同参画をめぐる動向

- 男女共同参画に関連する世界的な潮流・動向（ジェンダー・ギャップ、政治、経済分野での女性参画の不足 等）
- 男女共同参画に関連する国の動向（国全体の動向データの整理と国の計画の概要等）
- 男女共同参画に関連する兵庫県の動向（県全体の動向データの整理と県の計画の概要等）

第2章 南あわじ市の男女共同参画をめぐる現状・課題

1 南あわじ市のこれまでの取組

○第2次計画の進捗、総括的な評価

- ・審議会での女性委員登用率の上昇、地域づくり協議会やなでしこ分団など地域における女性参画の状況
- ・女性管理職の増加における取組 等

○第2次計画の進捗、総括的な評価からみえた課題

2 統計データからみる現状・課題

○現状動向の把握

- ・人口動向、高齢化率、年少・生産年齢人口、世帯、外国人人口
- ・未婚率、若者の転出入、「家庭」に係る動向
- ・産業、雇用動向
- ・女性の参画状況（地域・市役所内） 等

3 各種調査からみる現状・課題

○市民・事業者・高校3年生・市役所職員へのアンケート調査結果

○アンケート調査結果からみえる課題 等

4 計画の重点課題

○第2次計画、現状動向、各アンケート調査結果を踏まえた重点課題の設定

根深く残る性別的役割分担意識が与える影響

〔家庭生活〕

- ・「家庭」に対する固定概念が、女性の負担増加に繋がっている。
- ・子どもに対して無意識的に浸透する恐れがある。

〔社会・職場〕

- ・家庭生活における女性の役割・負担が大きいことが、雇用状況や仕事内容に男女差が生じる一因となっており、その結果、女性の社会進出が進まない。
- ・性別に関係なく働きやすい職場となるような制度・手当・対策が十分でない。

〔性的マイノリティ等〕

- ・性的マイノリティ等の存在を認知はするものの理解は進んでいない。
- ・「男性」「女性」という固定概念がベースとなった意識が、LGBTQ+等の性的マイノリティの『生きづらさ』に繋がっている。

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

《現行計画の基本理念》

男女がともに希望をもち 自分らしく活躍できるまち



別紙のとおり

2 基本目標

○基本目標設定の前提

	内容	手段
ソフト面	・更なる普及・啓蒙促進	・より一層理解を促進のためのセミナー・講演会・研修などの開催 ・コンソーシアムなど複数関係者による協議 ・ロールモデルの創出などの実践的な取組
制度面	・社会進出、活躍するための環境整備 ・制度・手当を創設し、理解や認知を促進	・休業制度等の創設、整備 ・パートナーシップ制度の創設 等

3 計画の体系

○基本目標に基づく施策を体系化

※基本目標を設定後、「基本施策」「個別施策」による体系化

第4章 計画内容

○計画の体系に基づいた具体的施策

※基本目標を踏まえた、具体的な「個別施策」

第5章 計画の推進

○計画を推進するための体制や進捗管理

※「個別施策」の「推進体制」や「進捗管理方法」